



ミス雪椿の初仕事となる市民茶会で

(左から、野俣佳那さん、ミス雪椿クイーン南雲満里奈さん、藤田茜さん)

主な内容

- 第50回 雪椿まつり開催……………26
- 粟ヶ岳山開き……………7
- 来年度採用就職ガイダンス……………8
- 歯の健康・雪椿マラソン……………9
- 雪椿杯バレーボール大会……………9
- 加茂の風土記……………10

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育施設を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



左からミス雪椿・野俣佳那さん、ミス雪椿クイーン・南雲満里奈さん、ミス雪椿・藤田 茜さん

第五十回雪椿まつり大園遊会が四月十七日に開催されました。開催日の空模様は雨から曇りとの予報だったため、市民体育館で会場の準備がすすめられました。

今回は、四月十四日からの熊本地震により、市中パレードは中止とさせていただきました。

大園遊会

四月十七日、加茂山公園のユキツバキやサクラは、少し前に満開を迎えました。大園遊会は午前中に風が強くなる中、市民体育館で行われました。始まる前に熊本地震で被害に遭われた方々を悼み、黙とうがささげられました。

開会セレモニーで、雪椿まつり実行委員長の小池市長が「現在も続く熊本地震で被害に遭われている方々にお見舞い申し上げます。雪椿まつりは五十回という節目を迎えることができました。市中パレードは中止とさせていただきますでしたが、この大園遊会を行うことが被災地へのエールとなると思います。」とあいさつしました。

大園遊会、最初はミス雪椿公開審査です。雪椿まつりのテーマ曲「恋



熊本地震での被害者を悼み黙とう

の雪椿」とともに、ミス雪椿クイーン候補九名がステージに登場すると、会場から大きな拍手が送られ、一人ずつ自己紹介、加茂や雪椿の印象を話していきました。一般審査員となる観客席の皆さんのそばを歩いて、会場内を回り、今年のミス雪椿を決める投票が行われました。午後二時ころからのミス雪椿発表で、ミス雪椿クイーンに南雲満里奈さん、ミス雪椿に野俣佳那さん、藤田茜さんが選ばれました。ミス雪椿の三人には、一年間、加茂の観光PRや市内外でのイベント・セレモニーで活躍していただきます。



樋野淳一 JR東日本新潟支社
営業部販売課長(支社長代理)



伊藤健一 新潟県農林水産部治山課長
(新潟県知事代理)



菊田真紀子 衆議院議員

友好都市大島町との交歓会では、三辻利弘(みつじとしひろ)町長と小池清彦市長が記念品を交換し、握手が交わされました。
三辻町長は「町長としては初めてですが、加茂市へは三十年ぶりに来ました。これまで、災害などで加茂市民の皆さんからご支援いただいたことに感謝しております。」とあいさつされました。
小池市長は「毎年、大島町の椿まつりではお世話になっています。三

また、昨年の大園遊会から活躍していたミズ雪椿の樋浦こころさん、車谷唯さん、大塚英恵さんへ子供たちから花束と会場から感謝の気持ちが届められた大きな拍手が贈られました。

アトラクションでは、加茂松坂協会の「加茂松坂」からスタートしました。星の会の「花笠音頭」、ザ・松坂の「加茂小唄」、秋扇会の「年輪」が披露されました。そして歌手の津吹みゆさんを迎えての歌謡ショーです。二十歳になったばかりという津吹みゆさんの歌声とお話で客席から大きな拍手が広がり楽しいステージとなりました。

また、昨年の大園遊会から活躍していたミズ雪椿の樋浦こころさん、車谷唯さん、大塚英恵さんへ子供たちから花束と会場から感謝の気持ちが届められた大きな拍手が贈られました。



握手を交わす三辻町長と小池市長



新しいミス雪椿へバトンタッチ



新しいミス雪椿クイーン・南雲満里奈さんの頭上に王冠が載せられました。



市民体育館で開催された大園遊会



勇壮な御神火太鼓の演奏



大島町婦人会の皆さんの踊り

野外ステージを中心に加茂山公園内に八つのゲームに子供たちが挑戦しました。公園内のユキツバキとサクラが満開で、額に少し汗をにじませながら、カモレンジャーたちと修行ゲームを楽しんでいました。

トレジャーハンティング

三十二回目を迎え、県内六市町から十六チームが出場し、全チームに参加賞としてユキツバキの苗木と加茂の特産品が贈られました。決勝は、ともに三条市のほないクラブと四日町クラブが対戦し、ほないクラブが昨年に続き連覇を達成しました。

10日(日)
雪椿杯バレーボール大会

原山の噴火や台風被害からの復興は、加茂市民の願いでもあり、この交流がさらに広がることと思います。」とあいさつし、加茂市から桐三段箏箏が、大島町からツバキの花焼・大皿の記念品がそれぞれ贈られました。続いて、ミス大島の島津恵梨花さんから伊豆大島の観光PR、大島町婦人会の皆さんによる「大島節」「夢椿」二曲の踊り、勇壮な御神火太鼓が披露されました。



星の会の「花笠音頭」



加茂松坂協会の「加茂松坂」



秋扇会の「年輪」



ザ・松坂の「加茂小唄」



ゲスト歌手・津吹みゆさんの歌謡ショー



ミス大島の島津恵梨花さんが大島町をPR



司会の田巻直子アナウンサーと津吹みゆさん

17日(日) 雪椿マラソン

大園遊会でミス雪椿が発表されるころ、JR加茂駅前をスタート。昨年からのコースの変更により、大通り〜昭和橋〜八幡桜並木〜勤労者体育センター(3kmコース・ゴール)〜猿毛集会所〜ゴール(8kmコース)で百二十三名が完走しました。



青海神社拝殿の茶席

29日(金・祝) 市民茶会

市民茶会は、青海神社拝殿と貴賓室、そして杉木立での野点が、あいにくの雨のため、公民館研修室で行われました。それでも、和装で訪れるお客様も多く、それぞれの茶席で点てられたお茶とお菓子を楽しんでいました。この日、ミス雪椿クイーンの南雲満里奈さん、ミス雪椿の野俣佳那さん、藤田茜さんも各茶席を訪れ、お客様と一緒にお茶を楽しみました。



杉木立での茶席が雨のため公民館研修室に



青海神社拝殿貴賓室の茶席



雪椿マラソン入賞者表彰式



雪椿マラソンは加茂駅前をスタート



トレジャーハンティング in 加茂山



雪椿杯争奪加茂市近郷家庭婦人バレーボール大会



登山シーズン開幕 粟ヶ岳山開き



登山道入口で北澤山岳会会長、大澤加茂警察署長、小池加茂市長がテープカット



加茂警察署の皆さんが登山事故防止を啓発

粟ヶ岳登山の山開きが四月二十九日に、水源地第二ダムの中央登山道入口で行われました。今年はいにくの雨模様でしたが、登山口には約五十人が集まり、登山者の安全を祈願しました。

加茂山岳会の北澤忠男会長は「六月の登山道はヒメサユリが群生していますので楽しみにしてください。」とあいさつされました。

加茂警察署の大澤宣夫署長は「晴れていれば眺望は素晴らしいと思いますが、天候と体調には十分注意してください。」と話されました。

小池加茂市長は「粟ヶ岳は、美しい山ではありますが、険しい山でもあります。今日は天候がよくありませんので、くれぐれも安全第一に、無理せず楽しんでください。」とあいさつしました。

登山道の第二ダムでは、加茂警察署の皆さんが装備や体調を確認するよう声かけや登山道のパトロールで事故やけがのないよう山岳遭難防止の広報活動を行い、今年の粟ヶ岳登山のシーズンが始まりました。



JR加茂駅前から無料バスを運行

加茂地区就職ガイダンス2017

加茂地区就職ガイダンス

主催 / 加茂市・ハローワーク三条・加茂地区雇用促進協議会



就職活動の学生に企業説明会を実施



四月二十一日、産業センターで大学、短大、専門学校卒業予定者と三年以内の既卒者を対象とした、来年度採用予定の企業説明会が開催されました。この就職ガイダンスは、今年で四回目で、四十二社（三十八ブース）から参加いただき、地元就職を希望する学生の皆さんにとって大切な機会となりました。

はじめに小池市長が「少子化という社会の中で皆さんは金の卵といわれるようになってきました。自分に合った生涯打ち込める職業を探してください。企業の方々には採用される学生を大切に育てていただきたいと思っています。」とあいさつしました。

からは「日本の景気は日銀発表でも上向いています。ここ県央地域の求人倍率は県平均を上回っており、地元企業では若い労働力・人材確保が急務という状況です。インターネットなどで様々な情報があふれていますが、今日のような企業から直接聞ける機会を活用してください。」とあいさつされました。

各企業ブースでは、採用担当者が、製品や提供サービス内容、福利厚生、地域や社会参加活動を説明し、学生からの質問に答えていました。七月には高校卒業予定者向けの企業説明会を予定しています。





◆歯周病の原因と予防法

歯周病は、歯周病菌が歯と歯ぐきの境目にたまることで生じます。ブラッシングがうまくいかないと細菌は数を増やし、歯ぐきは炎症を起します。これが歯肉炎と呼ばれる症状です。炎症がさらに強くなると、歯と歯ぐきの境目にポケットが形成され、歯を支えている骨が溶け始め、歯周炎と呼ばれる状態になります。自覚症状としては、ブラッシング時に歯ぐきから出血する、膿が出る、口臭がするなどがあり、症状が進行すると歯が揺れたり、移動して、その結果歯が抜けてしまうこともあります。

最近の研究から、歯周病があると全身状態に影響する事がわかってきました。糖尿病、心内膜炎、関節リウマチ、ぜんそく、早産、動脈硬化とそれに伴う脳梗塞、心筋梗塞などになりやすくなると考えられています。

健康寿命をささえる

お口のケア

歯周病は歯を失う病気だけでなく全身状態を悪化させる恐ろしい病気なのです。

それでは、どのように歯周病を予防すれば良いのでしょうか。まず、大切なのは毎日の歯みがきです。歯ブラシはヘッドが小さめでシンブルなものがおすすめです。毛先を歯の表面に直角にあてて、小刻みに振動させます。そして磨き残しがでないよう、おなじ順序で磨いていく事が大切です。歯ブラシが届きにくいところは、デンタルクロスや歯間ブラシの出番です。歯と歯のすき間が狭い方はデンタルクロスが、広めの方は歯間ブラシが有効でしょう。また、細菌は舌の上や唾液にもたくさんいますので、デンタルリンスを併用すると、デンタルリンスを併用すると、歯周病予防につながります。

このように、普段のていねいなケアが最も大切なのですが、100%きれいに磨くことはそう簡単なことではありません。ですから、定期的にかかりつけの歯科医師にチェックしてもらうことも欠かせません。セルフケアとプロのケアで歯周病を防ぎ、全身の健康につなげていきたいものです。

(加茂市歯科医師会)

第32回雪椿杯争奪

加茂市近郷家庭婦人

バレーボール大会

期日 四月十日

会場 勤労者体育センター

参加 県内十六チーム

優勝 ほないクラブ (三条市)

準優勝 四日町クラブ (三条市)

三位 まるやま (新潟市)

J・H・C (三条市)

【個人賞】

最優秀賞 本田紀子 (ほないク)

優秀賞 渡辺恵子 (四日町ク)

技能賞 皆木恵巳 (ほないク)

伊藤真弓 (J・H・C)

敢闘賞 柴 杏奈 (まるやま)

知野香子 (あじさい)

第37回雪椿マラソン

期日 四月十七日

出場・完走選手 百二十四名

【3 kmコース・駅前→道半交差点→

八幡桜並木→ゴール】

▼小学三・四年生男子の部①石附嶺

志 (加茂レッドファイヤードッジポ

ールクラブ・加茂南小) ②角田樹一

(加茂レッドファイヤードッジボー

ルクラブ・加茂小) ③鶴巻来音 (加

茂Jr陸上・石川小) ▼小学三・四年

生女子の部①柳生田紗和 (加茂Jr陸

上) ②山崎菜由 (加茂Jr陸上) ③坪

谷花穂 (加茂Jr陸上) ▼小学五・六

年男子の部①吉田優也・最優秀選手

賞 (新潟市中野山小) ②井上卓哉

(下条小) ③安達蒼太 (三条ジュニ

ア) ▼小学五・六年女子の部①丸山

凜子 (三条ジュニア) ②横井美沙希

(加茂Jr陸上・石川小) ③坂上明星

(ドッジボール愛好会・石川小) ▼

中学生男子の部①小柳洗平 (七六谷中)

②五十嵐皓喜 (田上中) ③桑野侑也

(葵中) ▼中学生女子の部①武田芽

依・最優秀選手賞 (田上中) ②吉田

美奈 (新潟市石山中) ③武田詩歩

(葵中) ▼一般高校女子の部①波塚

美奈子②小嶋のどか③山本理恵子▼

壮年男子 (40歳以上) の部①高井滋

(いからしの里) ②三本健志 (メデ

イカル・フェニックス) ③土田禎成

(曾野木中教)

【8 kmコース・駅前→道半交差点→

八幡桜並木→猿毛集会場脇→ゴー

ル】

▼一般高校男子の部①小柳泰治 (加

茂農林高) ②西山猛彦 (コロナアス

リートクラブ) ③吉田翔 (T&M)

江戸時代 加茂町・上条新町の商人役

あきんどやく

江戸時代、加茂町には年貢米のほかに商売に従事するための雑税《商人役》が、新発田藩から賦課されていた。

商人役がみえるのは慶長十五年（一六一〇）で、酒造者が納める酒役や濁り酒屋が納める濁酒役とともに、四人の商人名で米二石六斗の商人役が賦課されていた。領内の商人役を記したこの記録には、ほかに次第濱村・藤塚村・水原村・新津村・沼垂町と加茂町を合わせて六か町村から六石八斗五升が納められていた。当時、これらの町や村には商人が店を構え、商人役を納めて商売できる権利を得ていた。

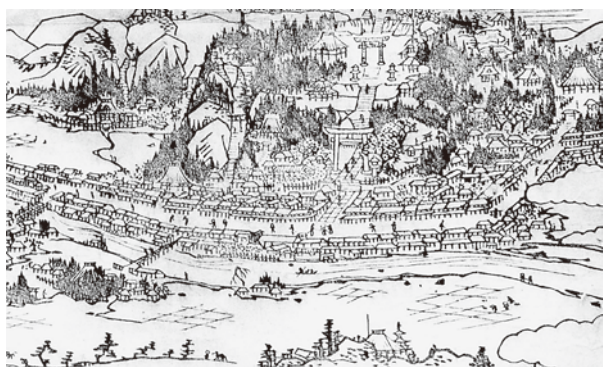
加茂の風土記

おかしな事にその後、領内には加茂町のほかに小須戸町や亀田町・中之島町ができ、商人が商いをしてきたが、これらの町には商人役の上納はなく、享保年間（一七一六～三六）では、新津町と加茂町にだけ商人役の上納が義務付けられていた。

新発田藩においては、慶長期に設定された商人役をそのまま一部の町にのみ継続していた雑税といえる。

加茂町の商人役の額は、当初の二石六斗から享保年間には四石四斗三升で、以後はこの額で変わりはなかった。そのうちの八斗七升五合七勺は元禄三年（一六九〇）に町立された上条新町から加茂町を経由して藩に納められていた。

実際に加茂町にどのように商人役が賦課されていたかをみると、寛延



幕末の加茂町と上条新町（左）の賑わい（版本、弘化年間「北越加茂青海八景」より）

三年（一七五〇）分の「当御所納帳」では、表通りに住む全ての家々に割り掛けられ、額は町屋敷の表間口に応じて米八升六合から一升七勺の商人役米を割掛けられていた。例えば間口四間五尺の上町の三左衛門は商人役四升三合を年貢米と一緒に年一度納めていた。屋敷を二軒持つていれば二軒分の商人役を納めていた。

加茂町で商人役が賦課されていなかったのは、町裏の家や百姓家が主な石川や岡ノ町であった。

加茂町は寛政元年（一七八九）に新発田藩領から幕府領に替わるが、商人役は幕末まで引き継がれ、明治期には営業税に変わる。

加茂町の表通りには約百六十五軒の町家があり、大小の商人が商業活動を行っていた。また上条新町では約八十五軒の町家があり、同じように商人役を納めていた。江戸時代後半の加茂町には、江戸・京都と取り引きする呉服屋の小島重太郎、同じく呉服屋の早田佐四郎、織物屋の若狭屋喜助、薬種屋小柳次郎作など世間に聞こえた商人が活躍し、新町では紙屋・元結屋や他国と活発な取引する商人もいた。

（関 正平）

あきんどやく

- 社会福祉費寄付金
- 加茂菓子組合から 十万円
- 新潟加茂青山会から 四千元

人口のうごき

4月1日現在
 世帯 10,290 (+5)
 人口 28,518 (-96)
 男 13,829 (-50)
 女 14,689 (-46)
 ()内は前月比
 (3月異動分)
 出生 11 (男8女3)
 死亡 34 (男22女12)
 転出 164 転入 91